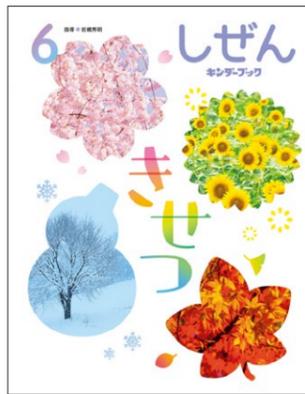


## 今月は「きせつ」

春、夏、秋、冬……毎年あたりまえのように繰り返される季節の移り変わりですが、科学的には、おもに気温の移り変わりによって起こります。そしてその気温の変化を引き起こすのは、太陽の動きの変化です。身近で不思議な「季節」について考えましょう。



**ねらい** 気温が上がるのは太陽の力であることを伝えます。

**つかい方のポイント** 絵の中の説明を一つひとつ順番に読み、太陽の光が空気を暖めていることを理解できるようにしましょう。晴れている日に実際に日なたと日陰を移動して、それぞれどのように感じたか話し合ってもよいですね。

## ページをめくると

6 ▶ 7 から 8 ▶ 9 の展開例

### きせつのぎょうじいろいろ

↑ねんのうちにはきせつにあわせたさまざまなぎょうじがあります。みんなはそれぞれのきせつにどんなことをしましたか?

そのぎょうじのときはあつかったですか? さむかったですか? どのようなふくをきていましたか?

どんな  
きせつのぎょうじが  
あるかな?

**ねらい** 一年間にどのような季節の行事があるのか、自分の経験を振り返って考えましょう。

## ★ きせつが はんたいになる ばしょ ★

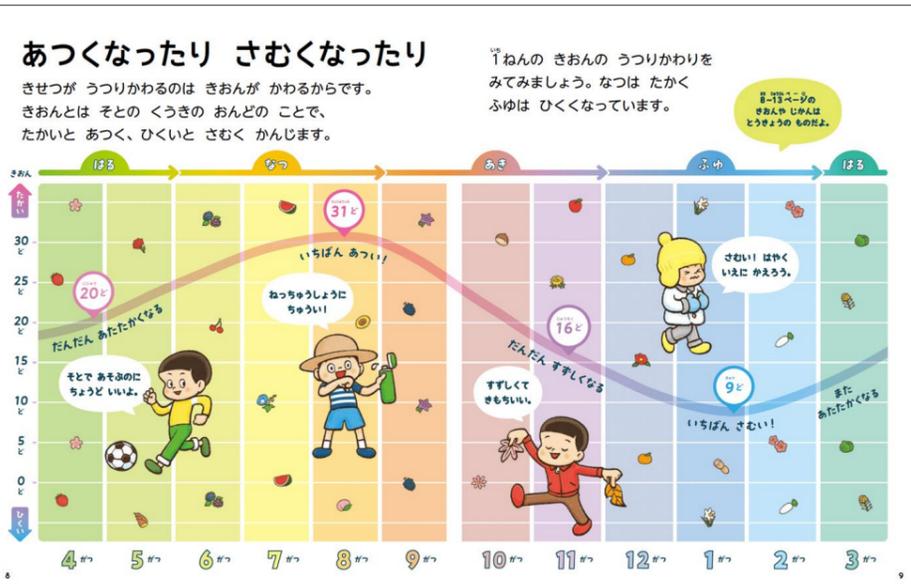


**ねらい** 北半球と南半球で四季の時期が違うことに気づかせましょう。

**つかい方のポイント** オーストラリアのそれぞれの季節が何月になるのか、誌面をよく見て考えましょう。日本の四季を解説している4~5ページと並べて、比べてみるとわかりやすいですね。

きおんは  
どのように  
かわるのかな?

**ねらい** 行事の体験や服装をきっかけに、季節ごとの気温の変化を実感させます。



**つかい方のポイント** それぞれの季節の気温を実感できるよう、自分たちが体験したことを出し合ひましょう。ある行事のときにどのような服を着たか、天気はどうだったか、暑かったか寒かったかなど、具体的に思い出せるよう促しましょう。

## あそびの展開例

旬の食べ物や季節の植物を探してみよう。

- ねらい** ●身近な食材や植物をとおして、季節の移り変わりを感じる。
- 遊び方** ●いつも食べている食材や身のまわりの植物がどの季節に見られるかを考え、出し合う。  
●図鑑や絵本で興味のある食材や植物を調べる。  
●模造紙などに、食材や植物の絵を季節ごとに分けて描く。
- 保育者の配慮** ●子どもたちが興味をもった物事を調べられるように、図鑑や絵本を用意する。  
●調べたことをわかりやすく分類できるよう、必要な描画材などを準備する。

「しぜん」を読めば答えがわかる!  
今月の扉ページのクイズ

- なつのつぎのきせつはなに?
- にほんでひるのじかんがいちばんながくなるのはなんがつ?
- 7がつのオーストラリアのきせつはなに?